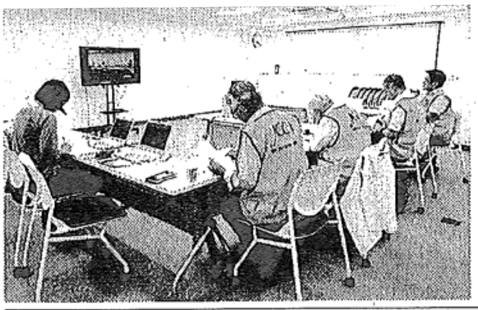
建設通信新聞
2024（令和6）年9月4日

災害時対応を確認

建コン協九州が
伝達網など確認

建設コンサルタンツ協会九州支部（田中清支部長）は2日、協会本部と各支部との災害時対応演習を実施した＝写真。中国地方の五日市断層を震源とするマグニチュード7・0の地震が発生した想定の下、中国支部に災害対策現地本部、協会本部に災害対策本部を設置、そのほかの支部が支援するという設定で行われた。



福岡市内の九州支部には、田中支部長をはじめ、防災委員が集まり、本部と支部の連絡・伝達網が正常に機能するかなどを確認した。支部と会員各社との連絡網は、8月末の台風10号の被害による応援要請と区別をつけるため、後日、別途確認するとした。

訓練は全支部でウェブ会議システムを使って実施した。協会本部の中村哲己会長は「想定する対応の妥当性を検証し、次の災害に備えていきたい」と述べた。